

投光器 学習版

国労東海貨物協議会
2013年8月25日 No.40
発行責任者 鈴木 和巳

のど元過ぎれば熱さ忘れる？

夏季手当の結果を踏まえ年末手当の闘いに活かそう！

先月支給された夏季手当を皆さんはどう思っていますか？回答が出る前にはアレコレと噂が飛び交い、会社は厳しいとは言うものの、あれ程の回答が出されたことに愕然とされた方も多かったと思います。全国的な状況として、住宅ローンや教育ローン、マイカーローン等の支払いにも四苦八苦しているという話も聞こえてきました。しかしながら、支給後一ヶ月も過ぎると職場で話題にも上らない状況ではないでしょうか？

今回の回答及び組合の闘いをしっかりと総括し、年末手当獲得の闘いに活かさない、それこそとんでもないことに成りかねません。

ある労働組合の噂では、年末手当は1.4ヶ月を確保した等とされていますが、果たして本当なのでしょうか？



今年度の経営計画はどうだった？

今年度の経営計画ではコスト（人件費）を大幅に削った中で、更に期末手当は年間2.5ヶ月に計画されていると言われています。



人件費の削減については、現在のところ動きが止まっていますが、国労が「会社と貨物労組との密約計画」を暴露した『賃金削減策』を検討していたことは間違いありません。それが止まっているということは、何らかのコスト削減をしないと今年度の計画が未達になるという理屈になります。

従って、今後何らかの賃金削減策を実施しない限り、人質となっている期末手当がどのようになるかは全く未定と言わざるを得ません。

じゃあ、どうするの？

この学習版で繰り返し記載していますが、皆さん自らが所属する組合をどの様に見て、どの様に関わっているかが重要です。所属組合は労働者のことを考えているのか？会社にすり寄っているのか？要求実現のためにどの様な闘いを展開しているのか？現場の組合員の声は本部へ届いているのか？など多くを検証し、また自らも行動することがなければ要求実現は難しいものとなってしまいます。



不満だらけの貨物会社を少しずつでも変えていくために国労と一緒に闘いましょう！

この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です！